

学費・入学金

- 入学金 300,000円
- 授業料 420,000円 年額

教科書、被服費、実習管理費および教材費等の必要経費の概算は3年間で30万円です。

修学支援

大阪病院の奨学金制度

- 対象者
- 経済的事情により支援を必要とする場合：所得要件を満たす人
 - 入学試験の結果による場合：貸与人数は学生定員の15%以内
- ※詳しい条件についてはお問い合わせください。

下記の制度の対象校となっています

- 高等教育の修学支援新制度
- [参考HP]文部科学省 https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/index.htm

学期および休暇日

- 修業年限 3年
 - 学期 前期4月1日～9月30日 後期10月1日～3月31日
 - 休暇日 国民の祝日・土・日曜日
 - 季節休暇 春季・夏季・冬季とし年間通じて10週以内
- ※寄宿舎はありません



SCHOOL GUIDE



Autonomy

未来を切り拓く力。



独立行政法人地域医療機能推進機構(JCHO)
大阪病院附属看護専門学校

〒553-0003 大阪市福島区福島4-2-78
TEL(06)7663-4911(直通)
TEL(06)6441-5451(代表)内線5103・5104

- JR東西線「新福島駅」下車(出口③)徒歩約5分
- JR環状線「福島駅」下車 徒歩約10分
- 阪神電車「福島駅」下車 徒歩約10分、「野田駅」徒歩約15分
- 大阪メトロ千日前線「玉川駅」下車 徒歩約10分
- 京阪中之島線「中之島(大阪国際会議場)駅」下車(出口①)徒歩約5分(下福島公園の中を通ると近道です)
- 大阪シティバス 大阪駅前56「福島西通」下車 徒歩約3分
- 大阪シティバス 大阪駅前55「堂島大橋北詰」下車
- 大阪シティバス 大阪駅前53「堂島大橋」下車
- タクシー「大阪駅」より約10分



独立行政法人 地域医療機能推進機構(JCHO)
大阪病院附属看護専門学校

Autonomy

自ら考え、自らを律し、主体的に行動し最善を尽くす。
真に自律した看護師をめざして。

大阪病院附属看護専門学校では、人材育成に共通の考えを持つ大阪病院看護部との連携をもとに、どんな医療現場にも自主的に対応できる、思考力・判断力・実践力のある看護師へと成長できるように支援します。

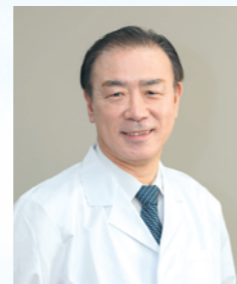
保健・医療・福祉を通して人との関わりを大切に、ともに学び、高めあえる関係性を築きたい、人の役に立ちたい、そんなあなたの思いを、大阪病院附属看護専門学校で形にしませんか。

学校長
挨拶

人や社会から求められる、
新しい時代の看護とケアを担う、医療人に。

本校では、経験豊かな専任教員や講師による解りやすく丁寧な講義、時に厳しいけれど心温かい指導、そして明るく楽しい学習と実習を通し、人の健康や命を預かる看護専門職に必要なすべての医学と看護の基礎的知識を十分に学ぶことができます。同時に、医療の高度化・専門化に応える高い看護のスキルも身につけることができます。寿命の延伸と人口構造の変化を受け、看護とケア

は非常に重要なものになり、広く求められる職種になっています。ぜひ、本校とともに学び、患者さんや家族の心に寄り添う温かな看護の心と、最新の看護ケアの知識、最高の技術を身につけてください。看護を通し、人に愛され、ほめられ、人の役に立ち、そして何より人や社会から求められる医療人に成長していただき、最終的には皆さん自身 が幸せになれることを心より祈念します。



学校長
西田 俊朗

大阪病院附属看護専門学校が求める学生像 (アドミッション・ポリシー)

1. 看護師となって働きたいという明確な意思を持つ人
2. 人に関心を持ち、人との関わりを大切にできる人
3. チームワークを大切に、高め支え合える関係性を築ける人
4. 他者の意見をよく聞くことができ、かつ自分の意志を(相手にわかるよう)論理的に表現できる人
5. 保健・医療・福祉に対して、関心がある人
6. 目標に向かって物事に粘り強く取り組める人
7. 自己の生活を整え、心身共に健康管理のできる人

卒業の認定に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)

1. 人間の生命と人間の尊厳・権利を尊重して対象に関わる態度が身についている
2. 看護の対象である人間を統合体として理解して、生活を営む存在として幅広く捉えることができる
3. 科学的根拠に基づいた看護実践に必要な臨床判断を行うための基礎的能力が身についている
4. 保健・医療・福祉システムにおける各職種の機能・役割を理解し、他職種と連携しながら、多様な場で生活する人々への看護を提供する基礎的能力が身についている
5. 看護の質の向上につなげるために自己を内省することで課題を見出しながら、達成に向けて自律して取り組むことができる

Autonomy をサポートする本校の学習制度

01 チューター制度

充実した学生生活の実現にむけて、学生一人ひとりをきめ細かにサポートできるよう、全教員が1学年6名程の学生を担当する「チューター制度」を取り入れています。夢や目標、学習上の悩みや問題などをともに考え、解決へと導きます。

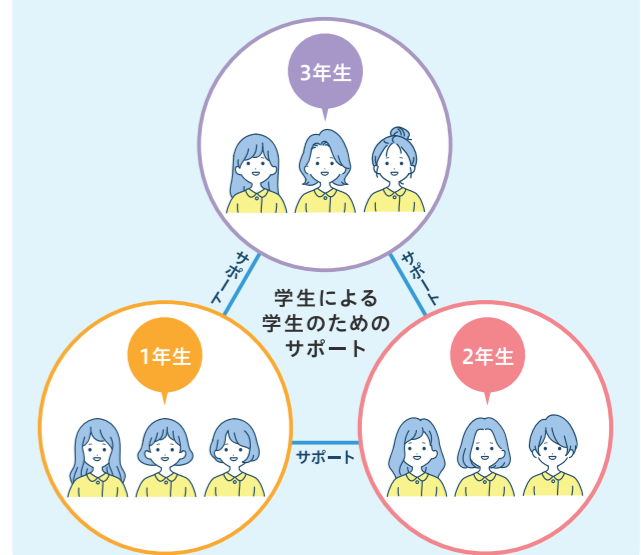
チューター制度



02 ピア・サポート制度

「仲間同士の支え合い」を意味し、共同学習や演習を通して先輩や後輩とともに成長したり、就職活動や進路の情報を交換できることがこの制度の魅力です。3年の間に横にも縦にもつながりをつくっていくことができ、自身の視野も広がります。

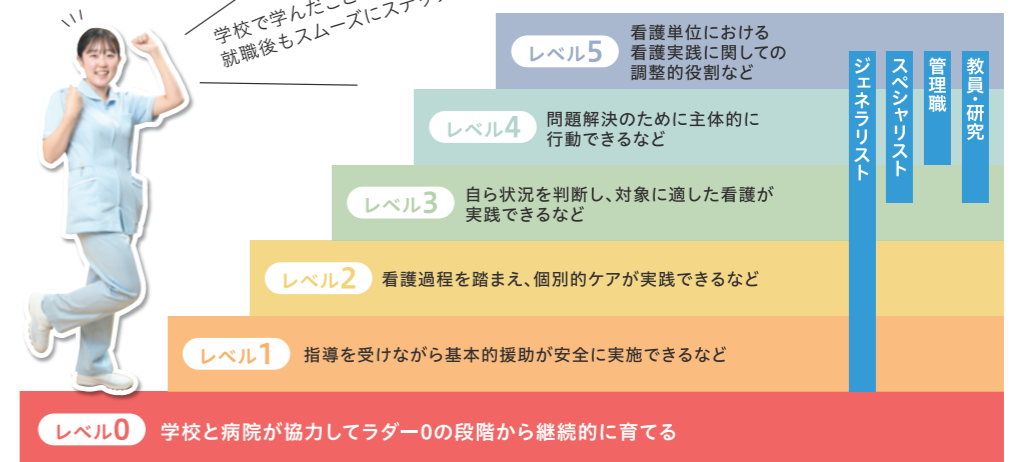
ピア・サポート制度



ラダー制度



学校で学んだことを活かして
就職後もスムーズにステップアップ!



03 ラダー制度

大阪病院と人材育成の考え方を共有、連携しているため、大阪病院附属看護専門学校で学ぶ3年間をレベル0、就職時をレベル1とし、段階的に成長できるようにラダー制度が設定されています。在学時から継続して看護職者として成長することができます。



副学校長
挨拶

人を癒し、人を活かす
看護専門職をめざしましょう。

当校学生の多くは、JCHO大阪病院に就職します。病院では、専門職業人として自律した看護を実践するために、学生から遠く看護師までのキャリアラダーを準備し、地域住民の多様なニーズに応える創造的で質の高い看護を提供できる人材を育成しております。自律した看護師とは、自身の看護や進路について思慮深く探索でき、意思決定できることと定義しています。そこには非常に優れた能力が必要です。当校は、優秀な専任教員をはじめ、病院職員総出であなたを支援しながら育成できる教育環境があります。未来の医療における看護は、AIでは解決できません。それは、【豊かな人間性;心】つまり患者に寄り添う想いが大切だからです。人を癒し、人を活かす看護専門職をめざすひと、ぜひ当校で学び進め、あなたの夢を叶えてください。



副学校長
谷岡 美佐枝

Curriculum カリキュラム

系統的かつ発展的に学び、真に自律した看護師を育成します。

1・2年次

基礎分野

人間と社会を幅広く理解し、豊かな感性と人間を尊重する態度を養います。「自己表現法」「キャリアデザイン」の科目で感性を磨き、自身の考えや思いを表現するとともに、自身の将来設計を考え進んでいく能力を養うことができます。

専門基礎分野

人体の構造・機能と疾病の成り立ちや治療を学んだのち、「臨床判断の基礎」の科目で看護に必要な観察力・判断力の基礎となる能力と人々の健康の維持・増進のために、チーム医療を実践するための基礎的能力を養うことができます。



「薬理学」

1・2・3年次

専門分野

基礎分野と専門基礎分野を土台として安全な看護を考え、実践できる基礎的能力を培います。「基礎看護学」は看護学の基盤としての位置づけで、原理原則を身につけて基本となる知識・技術・態度を学ぶことができます。「地域・在宅看護論」は、さまざまな場において療養者・家族の望む生活を支えるための看護を実践する知識・技術・態度を養うことができます。

そして、「看護の統合と実践」は、チーム医療における連携・協働を学び、看護を主体的に実践できる判断力・行動力、看護をマネジメントできる基礎的能力が身につきます。

Autonomy ポイント

自主的に行う技術練習

カリキュラムやピア・サポートグループによる活動計画以外にも、看護技術の演習に向けて、1・2学年のピア・サポートグループで朝や夕方など時間を見つけて、技術の練習を自主的に行っています。同じ看護師をめざす学生同士が自主的に学び、体験することで、学習の意欲向上につながります。



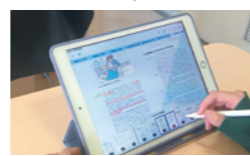
看護技術(吸引)の練習

先輩たちが後輩に学習方法を伝授

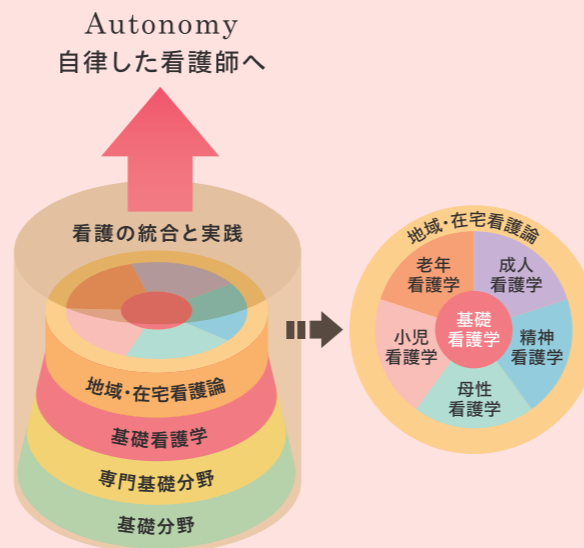
先輩が後輩たちに学習への取り組み方や実習、国家試験対策、就職などの大切なポイントをまとめ、わかりやすくアドバイスします。



電子書籍を導入！持ち運びも便利になり、各自工夫して学習に活用しています！



教育課程の構造図



pick up!

1・2・3年次

臨地実習

臨地実習は大阪病院で行い、患者様に必要な看護とは何かを考えながら看護実践する力を身につけていきます。大阪病院以外は、精神病院や介護老人福祉施設、訪問看護ステーション、保育所などさまざまな場で実習を行い、看護を学びます。

実習科目

- 基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ
- 成人・老年看護学実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
- 老年看護学実習
- 小児看護学実習
- 母性看護学実習
- 精神看護学実習
- 地域・在宅看護論実習
- 看護統合実習

実習病院



大阪病院



機能的で充実した設備が学習をサポート。

視聴覚室

151名を収容できる視聴覚室は、階段状になった構造で講堂のようなスペースです。外部から講師を招く特別講演や卒業論文の発表会などが開催されるほか、毎週金曜日の朝礼でも使用します。



体育館

入学式・卒業式などの行事や講演会、集団活動、学生間で体験しながら学びを深める授業で利用します。申請すると放課後、自由に使用することができるため、スポーツなどで思い切りリフレッシュすることができます。



実習室

実習用ベッド12床を設置、リネンチェンジや体位変換など看護の技術習得に欠かせない設備です。



情報処理室

授業で1人1台使用できるようにパソコンを設置。情報のデータ化が進む病院などの職場に対応するため、情報処理の基礎を学びます。



student's voice

カリキュラムについて
学生に聞きました



身近な環境に実習病院があることで、最新の看護をより実践的に学ぶことが大きな魅力です。

授業には大阪病院の医師や各病棟の看護師が講義に来てくださることも多く、各領域の特徴をより具体的に知ることができます。将来は専門性を追求して力を発揮していきたいと考え、今はその方向性を探りながら、看護の知識と技術を学んでいます。特に印象に残っている科目は精神看護の専門講師による「精神臨床看護援助論Ⅱ」で、精神機能障害を持つ人への看護や必要な援助などについて学び、精神看護への興味が深まりました。

School Life スクールライフ

夢をかなえるための大切な3年間。



資格取得・就職活動

本校では、チューター制度 + ピア・サポート制度を取り入れることで、看護師資格取得(国家資格)や地域医療のチームの一員として自律した看護師になる目標を支えます。そして、大阪病院をはじめ、JCHOのスケールメリットを利用した就職活動をサポートしています。

過去10年間の
看護師国家試験
合格率 **99.4%**
(2012年~2021年実績)

卒業後の資格

- 看護師国家試験受験資格
- 助産師・保健師学校受験資格
- 専門士(医療専門課程)
- 大学編入学資格

卒業生の就職率 **100%**

主な就職先

- JCHO大阪病院(旧名称:大阪厚生年金病院)
- JCHO星ヶ丘医療センター
- JCHO大阪みなと中央病院
- JCHO京都鞍馬口医療センター
- JCHO大和郡山病院
- その他全国のJCHO関連病院
- 大阪府下の病院

主な進学先

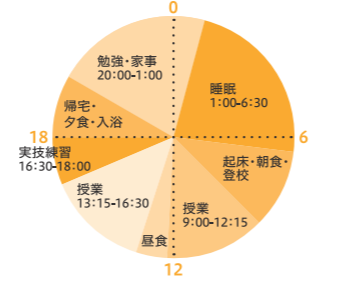
- 大学編入(保健師・助産師専攻)
- 助産師学校

student's voice

1年生

社会ですぐに活かせる、実践力を身につけたい。

オープンスクールで学生たちの雰囲気がとても良かったこと、また、先輩後輩のつながりが強く、先生方のサポートの厚さも魅力に感じ、入学を決めました。看護に必要な基本技術や看護の知識を学び、さらに専門性を身につけ、卒業後は自ら率先して動くことのできる、即戦力になる看護師をめざしています。テスト前の昼休みや放課後などは、クラスメイトとともに試験勉強や実技練習をし、互いに切磋琢磨しながら励んでいます。将来は助産師として働くのが夢です。

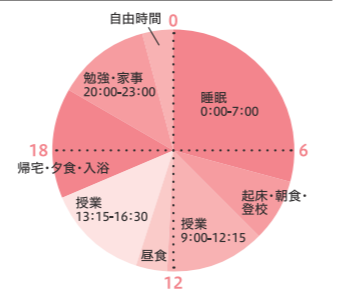


student's voice

2年生

将来の目標は、患者の立場に立った看護を行えるようになること。

授業では、大阪病院に勤務されている現役看護師による講義などを通じ、看護において重要な点、看護師に求められる役割などについて、現場に即した指導を受けることができます。これらは、患者の立場に立った看護を考える上で大変役立っていると感じています。事例の患者に合った看護を少人数の班ごとに考えるグループワークも多く、みんな積極的に意見を交換しながら取り組んでいます。文化祭やキャンダルサービスのイベントなどもあり、他学年との交流も盛んです。

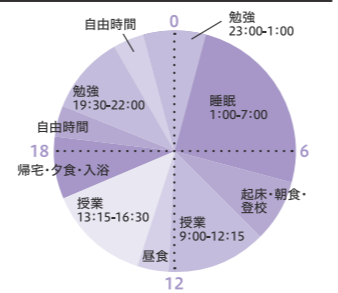


student's voice

3年生

実践的な学びを深め、いずれは認定看護師をめざす。

さまざまな学びを通じ、自分の得意・不得意が明確になったことが、今後どの分野での学びを深めたいのか、自己の看護観を形成することにつながっていると感じています。現在は、国家試験対策にも取り組み中。少しでも納得できないことは後回しにせず、その時に調べるよう心がけています。卒業後は大阪病院へ就職し、最善の看護を実践しながら、いずれは認定看護師の資格を取得し、より高度な専門性を発揮できればと思います。



沿革

- 昭和33年4月16日 「厚生年金病院大阪高等看護学院」開設。定員20名。
- 昭和36年3月 大阪厚生年金病院の敷地内に寄宿舎設立。
- 昭和48年 1学年の定員数を20名から30名に増員。
- 昭和51年 専修学校移行の認可を受ける。
- 昭和52年 1学年の定員数を30名から40名に増員。
- 昭和53年4月1日 専修学校として認可され、「大阪厚生年金看護専門学校」と名称変更。
- 昭和63年3月 新校舎設立。
- 平成7年3月17日 兵庫県西宮市に寄宿舎を建設し移転。
- 平成26年4月1日 「大阪病院附属看護専門学校」と名称変更。
- 令和2年3月 寄宿舎閉鎖。



大阪病院側から見た大阪病院附属看護専門学校

全国に広がるJCHOのスケールメリット

- 訪問看護ステーション **32施設**
- 居宅介護支援センター **30施設**
- 病院 **57施設**
- 看護専門学校 **5施設**
- 地域包括支援センター **13施設**
- 介護老人保健施設 **26施設**
- 病院からの訪問看護実施施設 **8施設**

がん医療、緩和ケア、地域医療など、JCHOグループでは各病院が特色ある医療を実践。自分に合った就職先がきっと見つかります。